

## アアデルの設計による小井土製材新事務所が2026年1月16日に竣工。 群馬県内初のマスティンバー工法「NLT」の採用



小井土製材 新事務所 外観



NLT（天井）とDLT（写真右の壁）

アアデル株式会社（代表取締役：小林 一彦）が設計・監理を行った、小井土製材株式会社（代表取締役：小井土 義治）の新事務所が2026年1月16日（金）に竣工致しました。  
本建築は、構造材として群馬県内初となるNLT床版を採用するとともに、木ダボのみで接合するDLT壁も採用。小井土製材が供給するJAS認定の一般流通材を、積層・パネル化することで、大規模な製造設備に頼らないサステナブルな中大規模木造建築のモデルを提示します。

### 地域材の最適利用と脱炭素化への対応

本プロジェクトは、供給側である製材所と、木造建築設計を主力事業としているアアデルが協働。近年、日本でも実用化が進むNLT等の最新技術を採用することで、地域材の需要拡大と建築の脱炭素化を両立させることを目的として進められました。

### 採用技術の概要

**NLT**（Nail-Laminated Timber：釘接合積層材）：一般流通材を小端立てに並べ、釘のみで緊結するNLTを採用しました。これは構造としての床版とすると同時に、断面寸法の異なる材を組み合わせてそのまま天井仕上とし、新たな木造のデザインを示します。また、床衝撃音測定を行い、通常の木造工法の床と比較して遮音性能の優位性がある点も確認しています。

**DLT**（Dowel Laminated Timber：木ダボ接合積層材）：接着剤や釘を使用しないDLTを構造壁に採用し、現し仕上げとしています。DLTは、製造時に接着剤や釘を使用しない木材100%の積層材であり、解体時の分別が容易で、ライフサイクル全体での環境負荷を低減します。

NLTやDLTは、材料供給から製造まで群馬県内の事業者で完結でき、ウッドマイレージ（木材の輸送量と距離を掛け合わせて環境負荷を数値化した指標）を縮減し、建設時のエンボディドカーボン（建設時に排出される二酸化炭素）削減に寄与します。また、NLTは大規模設備を必要としないため、建設業界における資材高騰等への対策となるとともに、地域で取り組める経済活性化の切り札となり得ます。

### 今後の展望

アアデルでは竣工した新事務所を実証モデルとし、中大規模木造建築におけるNLTやDLT等の技術提案・普及活動を行います。一般流通材を活用した様々な技術を広めることで、地域木材産業の活性化と、建築設計を通じた持続可能な社会の構築に寄与致します。

つきましては、是非、貴番組・貴紙にて取材の程、よろしくお願いいたします。

### 《お問合せ先》

企業名：アアデル株式会社

担当者名：小林 一彦

電話：050-5536-4596

FAX：050-3033-9735

E-mail:k.kobayashi@a-adel.com

HP：<http://a-adel.com>

住所：〒370-0854 群馬県高崎市下之城町584-70 高崎市産業創造館207